

同窓会会報

熊本大学医学部保健学科 第9号



熊本大学医学部保健学科第10回同窓会総会後記念写真（平成25年7月6日）

目次	同窓会会長あいさつ	1
	保健学教育部長あいさつ	1
	卒業生の寄稿	2
	在校生の寄稿	4
	職場紹介	5
	同窓会総会議事録	6
	特別講演	7
	同窓会特別講演の記録	7
	卒業生表彰	8
	熊本大学九州連合同窓会（仮称）について	8
	国家試験合格状況	8
	平成24年度卒業生の進路状況	9
	保健学科教員紹介	9
	同窓会会則・細則	10
	同窓会役員	11

**平成26年度保健学科同窓会総会、
特別講演、懇親会のご案内**

日時：平成26年7月5日（土）
14時00分より

場所：熊本大学医学部保健学科棟

住所変更の場合は、下記にご連絡ください。

TEL：096-382-1177（小野高速印刷）

メール：kumamoto@ohp.co.jp（小野高速印刷）

同窓会へ行こう!!

保健学科同窓会会長 **橋田昌弘** (熊本大学医学部附属病院 医療技術部)

日頃より、同窓会活動へご支援、ご協力を賜り感謝申し上げます。

平成25年7月6日に第10回総会・講演会・懇親会を開催し、総会へ76人(内:学生24人)、懇親会へ65人(内:学生16人)の多くの参加を頂き心から感謝申し上げます。第10回の節目であったこと、ハガキによる案内を初めて出したこと等で、例年になく、参加者が多かったものと推察します。今後も、この勢いを継続できればと思っています。

保健学科同窓会は、平成16年7月30日に設立総会が行われ、今年で第10回総会を迎えました。詳細は、本会誌に同窓会記録として掲載しています。私事で恐縮なのですが、第1回の設立総会で議長を拝命しました。それから10年、他の学部同窓会に比べ歴史が浅いと言いながら、確実に歩んではいます。しかし、同窓会の役目(目的)を果たしているのでしょうか?

熊本大学同窓会連合会(各学部の同窓会の連携組織)に参加しますと、他の学部の同窓会活動等が判り、保健学科同窓会の活動を、冷静な第三者の目で判断することができます。結論は、「決して活発な活動ではない」と判断されます。他学部の同窓会では、卒業生の職種が多様で、同窓会で情報交換が可能である、就職希望者(学生)と採用者(卒業生)がフランクに面談できる場になるなど、保健学科の同窓会にない特色もあります。また、同窓会の歴史、同窓生数、専任の役員(会長や事務局)、豊富な財政等の大きな違いがあるためかもしれません。しかし、これら外的要因もありますが、同窓生や役員の意識等の内的な要因も大きいと思います。

まずは、「人が集まる」魅力ある同窓会を目指したいと思います。今後、役員一同、試行錯誤しながら努力する所存です。逆に、同窓生の皆様へお願いです。年1回の同窓会へ参加をお願いいたします。多くの皆様に参加して頂くことで、相乗効果が発揮され、同窓会も活発化します。特に、卒後5年、10年、20年等の節目の年に、同窓会へ参加して頂き、昔話を花を咲かせてもらえれば幸いです。また、皆様の同窓会へ対する「わがまま」を役員にお伝え下さい。役員だけのideaは限られています。同窓生皆様のneedsが同窓会活動の原点になります。

平成26年7月5日の第11回総会・講演会・懇親会にて、皆様にお会いできることを楽しみにしています。

「同窓会いつ行くの? 今でしょ!!」

今後とも、同窓会をよろしくお願い申し上げます。

保健学科の現況

熊本大学医学部保健学科長 **富口 静二** (熊本大学大学院生命科学研究部先端生命医療科学部門・医療技術科学講座)
熊本大学大学院保健学教育部長 熊本大学医学部保健学科・放射線技術科学専攻

保健学科長(保健学教育部長兼任)に就任し、2年目にはいりました。

保健学科は看護学専攻、放射線技術科学専攻および検査技術科学専攻の3専攻で構成されております。現在、国家試験合格率および就職率は全国トップクラスです。保健学教育部の前期課程には看護系に11分野の専門看護師(CNS)養成コースの内、精神看護分野にのみコースを設けています。現在、在宅看護およびがん看護分野にコースを申請中です。放射系では医学物理士養成コースを開設いたしました。がん看護のCNSコースと医学物理士養成コースは共に「がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン」の研究助成をうけたものです。学部学生の博士前期課程や、博士前期課程から博士後期課程へ進学希望学生も増える傾向で、本学学生の学習・研究意欲の旺盛

さを感じ、嬉しく思っています。

本年度はいよいよミッションの再定義が行われます。現在、取り組み中ですが、これは国立大学のなかの保健学系学部において熊大の保健学科が果たす役割を明確に打ち出すことが目的です。基本的には熊本県を含む九州圏内の地域医療において医療技術の質の向上に貢献し、国際的視野を備えた学生を育成することだと考えています。また、現職の同窓会会員の皆様の医療技術者のスキルアップにも貢献できる保健学科にしないといけないとも考えています。そのためには同窓会組織の強化も重要な課題だと思えます。年に2回、東京と大阪で熊本大学全体の同窓会が開催されています。残念ながら保健学科同窓会会員の出席はほとんどありません。また、本学で年1回開催されている同窓会への出席も少ないように思います。是非、同窓会会員の皆様には、同窓会活動に積極的に参加して頂き、活性化を図って頂ければ幸いです。保健学科においても微力ではありますが、同窓会の活性化に寄与できるように頑張りたいと思います。



卒業生の寄稿

人と人との関わり合いの重要性

福岡市立こども病院・感染症センター 臨床検査部
堀内 寿志 (熊本大学医療技術短期大学部衛生技術学科 H14年卒業、第23回生)

熊本大学医療技術短期大学部衛生技術学科を卒業して10年近くが過ぎ、現在は福岡市立こども病院・感染症センターに在籍しています。私は細菌検査を担当しており、感染対策にも取り組んでいます。細菌検査業務は多岐に渡ります。検査結果を返すだけではなく、医師から検査結果の解釈や抗菌薬の選択について意見を求められたり、MRSAに代表される多剤耐性菌の検出状況をまとめて情報提供したり・・・数えればきりがありません。昨年、感染防止対策加算というものが設けられました。これには3年以上の病院勤務経験を有する検査技師の配置が必要であり、専門的知識をもった検査技師のチーム医療への参画の必要性が保険診療においても認識されるようになったものと感じています。と同時に、検査技師は検査業務のみをこなすだけではなく、その専門性をもってチーム医療へ参加する事が当然のものとなったのだ、とも言えます。専門性をもってチーム医療に参加する、という事は、多職種の専門性も理解する事です。それぞれの専門性が発揮できなければチーム医療は成り立ちません。感染対策を例に挙げれば、臨床検査技師は検出された耐性菌の特徴はよくわかりますが、耐性菌が検出された患者さんのケアに関して気をつけないといけ

ない事は、看護師でなければわかりません。医師や看護師、薬剤師と多職種で感染対策に取り組んでいると、「医療行為はいろんな人が関わり協力しながら行われているのだ」、という当たり前の事ですが極めて大事な事に気づかされます。今回初めて同窓会に参加しましたが、教鞭を執られている先生に学校の現在についてご教授いただいたり、恩師と再会したりする等、ここでも人と人との関わり合いの縁を感じました。医療だけでなく、生きている限り人と人との関わり合いは決して尽きないものです。今後も人と人との関わり合いを大事にしていきたいと思えます。

職場外活動を通じて

熊本大学医学部附属病院 医療技術部 診療放射線技術部門
尾野 倫章 (医療技術短期大学部診療放射線技術学科 21期生)

私は、平成13年3月医療技術短期大学部診療放射線技術学科を卒業しました。

卒業後約2年間福岡県大牟田市内の病院に勤務し、その後約4年間熊本市内の病院に勤務しました。2007年4月から熊本大学医学部附属病院中央放射線部で勤務しています。

私は数年前、『中央放射線部釣り部』という非公認の職場外活動部隊を立ち上げました。活動内容は、仲間と釣りに行く、というただそれだけのものであります。

ほとんどのメンバーとは釣りの活動を行う以前は、職場でのつながりだけでありました。

釣りをする中でお互いのプライベートの話をし、業務中には話さないであろう内容を話すことで、以前より親睦を深めることができました。親睦が深まった結果、業務の上でもコミュニケーションがとりやすくなり、以前より更に円滑な仕事ができるようになったと思います。私達は共通の趣味である釣りを通じて職場でも良いコミュニケーションを取ることが出来るようになりました。

合理主義の現代では、職場で顔を合わせているのに何故職場の外でも会わなければならないのか?と思う方も多いようです。

しかし、業務外での上司や同僚との会話は、その方の知らない一面を会間見ることが出来、新しい発見につながるものが少なくないと思います。そのような発見は自身の成長にも繋がりますし、仕事の上でも、良いコミュニケーションツールにもなりえると思います。

我々の職種は人と人とのつながりで出来ています。より良い人間関係を築き、雰囲気の良い職場環境を作ることが大事です。良い職場環境が、良い検査、良い治療につながる可能性があると思っております。つまり、良い職場環境は良い患者サービスにつながります。

今後も様々な職場外活動を通じて、職場環境を良くし、より良い患者サービスの提供が出来るように努力邁進して行きたいと思っております。

時代に合わせた看護を求めて

看護師、アロマセラピスト、(株)3HILLS 代表、
(社)エンディングコーチ協会九州支部

松尾 富美 (医療技術短期大学部看護学科 25期生)

私は本学を卒業後、熊大医学部附属病院に就職しました。そしてまだ間もない時期に看取りの現場に携わる経験を何度もさせていただきました。その時にはじめて直接関わった方の死に直面したと同時に「自分の両親や自分の最期を如何にして迎えるか?後悔なく生きていく為には?」という思いが沸き起こりました。私だったら普通に自分が一番居心地のいい場所で大切な人と共に最期を迎えたいと思っておりますが、痛みや不安

など数多くの問題は避けられないと考えました。

そのような事を真剣に考えていくうちに、今私がしたい事は何か?と思い、様々な異業種の方と関わっていく中でアロマセラピーという香りで気持ちをコントロールするというものに出会い感動しました。この感動に動かされて、当時看護ではまだほとんど導入されていなかったアロマセラピストの免許を取得し、五感を癒すエステサロンを開業しました。

美容に携わり8年が経ちます。美容業界にいても何度もナイチンゲールの看護覚え書きを読み返し、アロマ(新鮮な空気)、光(可視光線)、栄養学(適切な食事)などを真剣に勉強していきました。そうする中で得られたものは、知識だけではなく、看護師として同じ熱い思いを持つ仲間に出会い、一人では達成できない夢をチームで描き準備をはじめた事です。

今年に入り、(社)エンディングコーチ協会(おくりびと、デスエデュケーションやエンディングへの目標設定のプロ)との出会いがあり、協会の九州支部として活動していくチャンスをいただきました。在宅での看取り看護はまだまだ確立していませんが、そこには無限のニーズがあり、より早く時代のニーズを把握し行動に移せる看護師が必要だと思っております。

私が学生の時には、看護師は病院で働くだけというイメージをもっていました。しかしもし在学中から看護師の仕事の幅を知っていたら、目標イメージを描き、その方向性に向かって迷う事なく勉強ができていたのではないかと思っています。是非、在学生の皆さまからも時代の背景を捉え、在宅の終末期専門の看護師を目指す方が出てくる事を期待しています。

本学の卒業生として、看護師として、これから豊かな終末期を支える文化を創造できる人材になるよう日々精進していきたいと思っております。



在校生の寄稿

検査のプロとなるために

熊本大学医学部保健学科検査技術科学専攻 4年 境 賢史

私は幼い頃から医療従事者として働くことを夢見てきました。数ある医療職の中で、臨床検査技師を選んだ理由は、患者の治療を行う際に、その方針を決めるために欠かすことの出来ない”検査”に魅力を感じたからです。非常に責任のある仕事ですが、私はそこにもやりがいを感じております。本大学に入学後、講義や病院実習を通して、更に臨床検査技師になりたいという気持ちが強くなりました。

4年生になり進路を考える際、病院に就職するか企業に就職するか悩みました。私は、就職してからも学び続けていきたいという強い思いがあったので、その点を踏まえ就職活動を行いました。就職活動の中で、私は、就職したいと思う企業に出会いました。その企業の魅力は、ブランチラボラトリーという業務形態と資格取得の際に援助があるという点です。ブランチラボラトリーでは、病院と同等の経験を積めるだけではなく、病院では得られない経験もできます。また、この会社には、資格を取得されている先輩方が大勢いらっしゃるから、働きながら学べる環境に魅力を感じました。この度、目標とする企業に合格できたので、初心を忘れることなく精進していきたいです。本大学での学生生活は大変充実しており、今の自分の基礎となる部分を作り上げることの出来た大事な期間だったと思います。お世話になった先生方、本当にありがとうございました。

編入学を経て熊大生に

放射線技術科学専攻 4年 松本 峻

私は、2012年4月に熊本大学へ編入学しました。編入学とは、3年生専門学校・短期大学を卒業し、その後、学部3年生として入学して学士取得を目指す制度であります。私は専門学校を卒業し、診療放射線技師免許を取得した状態での入学となりました。編入学後は、卒業に必要な足りない単位を取得するスタイルとなっております。受講の必要があった看護学概論などの専門基礎科目では、医療人としての基礎を再認識できるよい機会でした。

学校生活では、技師免許を取得しているため、アルバイトとして臨床の場で働くことができ、学生でありながら患者様への応対や撮影の基礎を直に体験することがで

きました。更に、他の学部生よりも比較的時間に余裕があり、私は医療情報技師という資格取得に力を注ぎました。ペーパーレス化が進む今日の病院システムにおいて、医療情報・医用画像の管理は欠かせません。これらの管理には、病院システムについてはもちろん、一般的なコンピュータの知識や、情報セキュリティ、プライバシー保護についての知識も必要となります。このような知識、技術を有する病院スタッフがいることが病院として望ましく、将来、病院に就職した際に役立つと思い、医療情報技師という資格取得を目指しました。

卒業までの残り約半年では統計学の学習を予定しております。また、友人との旅行なども計画しており、学生生活を有意義なものとして過ごしたいと思っております。

病院実習を通して学んだこと

看護学専攻 4年 阿部 優希乃

私は大学1年から4年まで病院実習をさせていただきました。私は高校生の時などに看護師体験に参加したことがなく、大学1年生の時に初めて身近で看護師の仕事を見ました。その時に“看護師って本当にすごい”と漠然と思ったことを今でも覚えています。

私が今までの実習で特に印象に残っているのが、3年生から始まった領域別実習でした。領域別実習では本当に多くの患者さんや看護師と関わらせていただき、診療科で異なる看護を多く学ぶことができました。特に難しかったのが、個別性を重視した看護でした。患者さん一人ひとり個性があり、病気に対する受け止め方や生活背景が異なるので、それを考慮した看護が本当に難しかったです。個別性を考えるためには、患者さんのことを理解しなければならず、コミュニケーションをはかることも大切になります。私は人見知りであり、患者さんと最初は上手に話すことができませんでしたが、話すことだけではなく、バイタルサインの測定やその他の看護を通して患者さんと関わることで信頼関係を築くことができましたと思います。その時に言語的コミュニケーションだけではなく、タッチングなどの非言語的コミュニケーションも大切であると学びました。

最後になりましたが、病棟看護師さんや先生方の指導、実習メンバーのおかげで学びの深まる充実した実習を行うことができました。本当にありがとうございました。卒業後看護師として働きますが、今までの学びを生かすことができるよう頑張りたいと思っております。

職場紹介

済生会熊本病院 中央放射線部

沖川 隆志 (医療技術短期大学部診療放射線技術学科 16期生)

済生会熊本病院は1995年熊本市段山本町から現在の近見町に移転し、「医療を通じて地域社会に貢献します」の理念を掲げ、救急医療、集中治療、がん治療、予防医学に特化した施設です。診療放射線技師総数は総数44名で、放射線治療、血管造影、CT、MRI、核医学、一般撮影、予防医療センターのチームに分かれて日々の診療を行なっています。

組織的特徴としては部内各委員会を制定し、医療安全、患者満足、被爆低減、院内外への広報活動を全スタッフが各役割を担い、提案、改善を実行していくボトムアップ的な品質改善活動に取り組んでいます。また、国内外学会への参加、医師と協調した臨床研究、放射線技師独自の技術研究を通じて自己研鑽に取り組み、各種専門技師、認定技師の育成、施設認定取得にも積極的に取り組んでいます。今後も地域の皆様に愛される施設を目指しスタッフ一丸となって努力していきます。

福岡市立こども病院・感染症センター 臨床検査部

堀内 寿志 (熊本大学医療技術短期大学部衛生技術学科 H14年卒業、第23回生)

福岡市立こども病院は昭和55年福岡市中央区に開院した210床を有する小児専門の病院です。一般の医療機関での診療が比較的困難な特殊疾患のうち、新生児医療・心疾患・神経疾患・腎・内分泌疾患を中心とする小児期内科系疾患、および小児期外科系疾患、さらに感染症の診療を重点としています。特に心臓血管外科は、北は北海道、南は沖縄より、全国各地から紹介されます。

施設の老朽化に伴い、平成26年11月開院を目標として福岡市東区に新病院を建設中です。

私が勤務している検査部の職員は17名で、スタッフ各人が生理・一般・生化学・血液・輸血・細菌と専門

分野を担当しています。小さなお子さんから採取できる検体量は非常に限られているため、微量な検体量でいかに正確な検査結果が報告できるかを常に考えながら検査を行っています。

聖路加国際病院

春山 友香 (保健学科看護学専攻 4期生)

聖路加国際病院は、東京都築地にあり100年を超える歴史をもつ、520床の総合病院です。病棟の病室は全室個室でプライバシーや感染の面も考慮され、設備面も充実しています。2012年には、国際的な医療施設認証機関であるJCIの認証を取得し、世界基準の運営管理が行われています。

私は現在、女性総合診療部の周産科に助産師として所属しています。当院は自然分娩を基調とし年間1300件以上の分娩を行っています。NICUも完備し東京都地域周産期母子医療センターに指定され、母体搬送も積極的に受けています。

また、当院は院内教育が非常に充実しています。教育プログラムは看護職員個々の臨床実践能力のレベルの応じたコースを受講し、専門職として大きく成長できる環境にあります。実際に私が働く病棟もとても教育的な環境で、分娩介助、産褥、新生児、母乳外来、助産師外来、母親学級など、広範囲にわたり助産師として技術・経験を積むことができ、楽しく働ける現場です。



第10回熊本大学医学部保健学科同窓会総会議事録

日 時 平成25年7月6日(土) 14:00~14:35

場 所 熊本大学医学部保健学科棟E506講義室

出席者数 61名

議 長 前田浩氏(熊本市立市民病院中央検査部)

〈総会式次第〉

開会の辞

同窓会会長挨拶

保健学教育部長挨拶

議長選出

議事

1. 平成24年度事業および会計に関する報告

① 事業報告

② 決算報告

③ 監査報告

2. 平成25年度事業計画(案)

3. 平成25年度予算(案)

4. その他

閉会の辞

【 報 告 】

春田副会長の挨拶により第10回同窓会総会を開会した。橋田会長の同窓会会長挨拶と、吉永一也副部長による代行の保健学教育部長挨拶が行われた。その後、前田浩氏(熊本市立市民病院中央検査部)を議長に選出し、議事を進行した。

1. 平成24年度事業および会計に関する報告

平成24年度の5事業〔第9回総会の開催(7月)、第8号同窓会会報の発行(11月)、同窓会ホームページの管理・運営、保健学科オープンキャンパスの支援(8月)、第9回熊本大学同窓会連合会総会の参加(5月)〕について、橋田会長が報告した。

その後、平成24年度決算について松本会計幹事が報告した。

- ・平成24年度に初めて施行された第1回熊本大学卒業生表彰に係る経費は、予備費から計上している。

引き続き、会計監査の結果について適正であったことを、熊谷監事が報告した。

異議なく、平成24年度事業および会計に関する報告を、出席者の賛成多数により承認した。

2. 平成25年度事業計画(案)

平成25年度事業計画(案)について、5事業の継続を橋田会長が説明した。

- ・第10回総会は、往復はがきで案内を送付し、懇親会で特別企画を行う。
- ・同窓会運営のなかで、東京や関西の連合同窓会総会の参加を踏まえた体制づくりを行う。

3. 平成25年度予算(案)

平成25年度予算(案)について松本会計幹事が説明した。

- ・総会は往復はがきによる案内等を行うことから、総会運営費を例年より多く計上する。
- ・卒業生表彰と会務の出張に係る経費を、卒業生表彰費と旅費の2項目として新たに設ける。

さらに、旅費規程について橋田会長から補足説明があった。

異議なく、平成25年度事業計画(案)および予算(案)を、出席者の賛成多数により承認した。

4. その他

熊本大学により昨年度創設された卒業生表彰について、橋田会長が説明した。

以上をもって議事を終了し、前田議長が降壇した。そして、春田副会長の挨拶により総会を閉会した。

この後、各専攻紹介と、九州ルーテル学院大学客員教授・大橋誠也先生による「医療従事者における挨拶の重要性」と題した特別講演会が行われた。また、医学部楷樹会館にて懇親会が開かれた。



会場風景

特別講演

「医療従事者における挨拶の重要性」

大畑 誠也教授 (九州ルーテル学院大学客員教授)



大畑先生は、定年退職まで、熊本県内6校の校長を歴任されました。そのなかで、生徒数が激減して廃校の危機にあった地方の高校を、着任後3年間で入学志願者が倍増するほどの高校に立て直すなど、次々と教育現場の改革を成し遂げられました。

今回、「医療従事者における挨拶の重要性」と題して、人間関係を築くうえのコミュニケーションのポイントである挨拶について、この高校再建の体験をもとに講演していただきました。

懇親会風景



同窓会特別講演の記録

保健学科同窓会は、今年、設立10年を迎えました。これまで、医療従事者だけでなく、当事者やアナウンサーなど様々な分野の先生方から、ご講演いただきました。

第1回 (H16/07/30)	設立総会
第2回 (H17/08/06)	総会、茶話会
第3回 (H18/08/05)	「講話」 右田 香魚子 (熊本大学医学部附属病院 看護部長)
第4回 (H19/08/04)	「思いっきり元気で長生きするために」 宮崎 光二セバスチャン (NPOがん患者サポートセンター 代表)
第5回 (H20/08/02)	「土からの医療」 竹熊 宣孝 (菊池養生園名誉園長)
第6回 (H21/08/01)	「私を変えたスペインヒーリングロードの旅」 山本 みゆき (エナジーヒーラー・スピリチュアルカウンセラー)
第7回 (H22/07/03)	「ゼロからの出発—高次脳機能障がいと向き合いながら—」 一ノ瀬 純二 (高次脳機能障がい家族会 ぶらむ熊本 代表)
第8回 (H23/07/02)	「福島原発事故を理解する『放射能の基礎的知識』」 肥合 康弘 (熊本大学医学部保健学科) 「福島への放射線サーベイ派遣」 橋田 昌弘 (熊本大学医学部附属病院)
第9回 (H24/07/07)	「笑いの健康学」 本橋 肇 (KKTアナウンス部)
第10回 (H25/07/06)	「医療従事者における挨拶の重要性」 大畑 誠也 (九州ルーテル学院大学客員教授)



熊本大学卒業生表彰

平成25年度国立大学法人熊本大学卒業生表彰の表彰式が、11月3日の第8回ホームカミングデーに開催されます。この会報が発刊される頃かと思えます。この表彰は、熊本大学の発展又は社会からの理解促進につながる顕著な功績のあった本学卒業生に対し、学長が行うもので、今回は第2回になります。

本年度、保健学科同窓会より以下の方々が表彰されました。

- 田中 シゲ子（熊本大学医学部附属看護学校 昭和26年卒業）
 嶋田 ラク子（熊本大学医学部附属看護学校 昭和31年卒業）
 田中 紀美子（熊本大学医学部附属看護学校 昭和42年卒業）
 東田 善治（熊本大学医学部附属診療エックス線技師学校 昭和42年卒業）
 武藤 勝（熊本大学医学部附属衛生検査技師学校 昭和41年卒業）



昨年の第1回の卒業生表彰は、前回の会報でもお知らせいたしました。看護専攻から城慶子様、尾山タカ子様、放射線専攻からは洞田貫誠志様、検査専攻からは、熊谷エツ子様が表彰を受けられました。表彰時の写真を掲載しています。

熊本大学九州連合同窓会（仮称）設立について

熊本大学医学部保健学科同窓会は、熊本大学全体としての同窓会である熊本大学同窓会連合会に所属しています。これまで、同窓会連合会の活動として、東京連合同窓会、関西連合同窓会が開催されて来ましたが、この度、同窓生の多い九州地域で連合同窓会を設立する事となりました。来年の4月には設立記念式典を開催するスケジュールで動いています。これから、その役員などを九州各県の同窓生の方々のご意見を伺いながら、決めて行かなければなりません。

他学部の同窓会は、すでに各県に同窓会の支部を持っているところが多く、それぞれの支部の方々と一緒に作り上げていく形になりますが、保健学科同窓会は、まだそこまで組織作りが出来ておりません。これから、九州各県の同窓生の方々にご協力いただき、保健学科同窓会としての組織作りをしていきたいと考えています。ご協力の程よろしくお願い致します。

国家試験合格状況

平成25年4月

試験種類	受験年度	本学新卒者			全国（含既卒者）		
		受験者数（人）	合格者数（人）	合格率（%）	受験者数（人）	合格者数（人）	合格率（%）
看護師	20	65	64	98.5	50,906	45,784	89.9
	21	72	72	100.0	52,883	47,340	89.5
	22	71	70	98.6	54,138	49,688	91.8
	23	70	69	98.6	53,702	48,400	90.1
	24	67	67	100.0	56,530	50,224	88.8
保健師	20	77	77	100.0	12,049	11,773	97.7
	21	84	81	96.4	13,048	11,295	86.6
	22	80	75	93.8	14,819	12,792	86.3
	23	78	74	94.9	15,758	13,555	86.0
	24	72	71	98.6	16,420	15,764	96.0
助産師	20	17	17	100.0	1,742	1,741	99.9
	21	16	9	56.3	1,901	1,579	83.1
	22	14	14	100.0	2,410	2,342	97.2
	23	14	13	92.9	2,132	2,026	95.0
	24	13	13	100.0	2,113	2,072	98.1
診療放射線技師	20	43	34	79.1	2,547	1,896	74.4
	21	39	39	100.0	2,460	1,969	80.0
	22	36	35	97.2	2,409	1,712	71.1
	23	39	38	97.4	2,528	2,109	83.4
	24	35	31	88.6	2,426	1,615	66.6
臨床検査技師	20	38	37	97.4	3,701	2,657	71.8
	21	33	32	97.0	4,060	2,753	67.8
	22	30	30	100.0	3,959	2,652	67.0
	23	37	35	94.6	4,012	3,027	75.4
	24	39	34	87.2	4,097	3,162	77.2

平成24年度卒業生の進路状況等について

H25. 5. 9

看護学専攻 (卒業生72名)		
(就職)		
熊本大学医学部附属病院	熊本県	23
熊本赤十字病院	熊本県	1
福田病院	熊本県	1
済生会熊本病院	熊本県	2
人吉総合病院	熊本県	1
熊本市職員	熊本県	1
熊本県職員	熊本県	2
九州大学病院	福岡県	7
浜の町病院	福岡県	1
福岡大学病院	福岡県	3
麻生飯塚病院	福岡県	1
福岡徳洲会病院	福岡県	1
国立病院機構九州医療センター	福岡県	2
国立病院機構九州がんセンター	福岡県	2
佐賀大学医学部附属病院	佐賀県	1
国立病院機構長崎医療センター	長崎県	2
大分県立病院	大分県	1
宮崎大学医学部附属病院	宮崎県	2
鹿児島市立病院	鹿児島県	2
岡山大学病院	岡山県	1
神戸大学医学部附属病院	兵庫県	1
大阪医科大学附属病院	大阪府	1
京都大学医学部附属病院	京都府	1
慶應義塾大学病院	東京都	1
葛飾赤十字産院	東京都	1
東京女子医科大学病院	東京都	1
東京大学医学部附属病院	東京都	4
順天堂大学医学部附属浦安病院	千葉県	2
新潟市職員	新潟県	1
就職小計		70
(進学)		
熊本大学養護教諭特別科	熊本県	2
進学小計		2

放射線技術科学専攻 (卒業生36名)		
(就職)		
熊本大学医学部附属病院	熊本県	2
くまもと森都総合病院	熊本県	1
熊本放射線外科病院	熊本県	1
熊本市職員	熊本県	1
菊地養生園保健組合	熊本県	1
熊本赤十字病院	熊本県	1
菊陽台病院	熊本県	1
人吉総合病院	熊本県	1
新古賀病院	福岡県	1
小倉記念病院	福岡県	1
福岡大学筑紫病院	福岡県	1
博愛会病院	福岡県	1
国立病院機構九州ブロック	福岡県	1
九州大学病院	福岡県	1
長崎市民病院	長崎県	1
島原病院	長崎県	1
国立病院機構佐賀病院	佐賀県	1
湯布院厚生年金病院	大分県	1
大分県職員	大分県	2
古賀総合病院	宮崎県	1
鹿児島大学病院	鹿児島県	1
相良病院	鹿児島県	1
鹿児島県厚生連病院	鹿児島県	1
国立病院機構 関門医療センター	山口県	1
山口大学医学部附属病院	山口県	1
就職小計		27
(進学)		
熊本大学大学院保健学教育部	熊本県	7
熊本大学大学院医学教育部	熊本県	1
進学小計		8

検査技術科学専攻 (卒業生39名)		
(就職)		
済生会熊本病院	熊本県	1
熊本中央病院	熊本県	1
にしくまもと病院	熊本県	2
古庄胃腸科・内科医院	熊本県	1
水俣協立病院	熊本県	1
高木病院	福岡県	4
久留米大学病院	福岡県	1
福岡大学病院	福岡県	2
福岡山王病院	福岡県	1
原三信病院	福岡県	2
飯塚病院	福岡県	1
天神会	福岡県	1
長崎大学病院	長崎県	1
諫早総合病院	長崎県	1
野口病院	大分県	1
市民の森病院	宮崎県	1
J A 鹿児島厚生連病院	鹿児島県	1
鹿児島中央病院	鹿児島県	1
鹿児島県職員	鹿児島県	1
鹿児島赤十字病院	鹿児島県	1
相良病院	鹿児島県	1
鹿児島市立病院	鹿児島県	1
福山中央病院	広島県	1
中国中央病院	広島県	1
就職小計		30
(進学)		
熊本大学大学院保健学教育部	熊本県	4
熊本大学大学院医学教育部	熊本県	3
進学小計		7



保健学科教員紹介

(平成25年10月現在 五十音順)

◆看護学専攻

【基礎看護学講座】

教授：前田ひとみ 森田敏子
 講師：木子莉瑛 永田まなみ
 助教：有松 操 南家貴美代

【看護教育学講座】

教授：花田妙子
 准教授：角田俊治
 助教：福山美季

【臨床看護学講座】

教授：宇佐美しおり 河野宏明 國府浩子
 准教授：柊中智恵子 谷口まり子 中尾富士子
 助教：梅木彰子 福川摩耶 村上美華

【母子看護学講座】

准教授：坂梨京子
 講師：寺岡祥子
 助教：生田まちよ 島田久仁子 吉田佳代

【地域看護学講座】

教授：上田公代 西阪和子 東 清巳
 准教授：永田千鶴
 助教：日浦瑞枝 松本佳代 松本千晴

◆放射線技術科学専攻

【医用理工学講座】

教授：白石順二 富吉勝美 船間芳憲
 准教授：内山良一 米田哲也
 助教：大野 剛 辻田直子

【医用画像学講座】

教授：荒木不次男 伊藤茂樹 富口静二
 佛坂博正 村上龍次
 准教授：島村正道
 助教：肥合康弘

◆検査技術科学専攻

【構造機能解析学講座】

教授：二科安三 羽山富雄 柳沼裕二
 吉永一也
 講師：伊藤雅浩
 助教：橋本弘司

【生体情報解析学講座】

教授：乾 誠治 大坪和明 大森久光
 奥宮敏可 三森龍之
 准教授：畑 裕之
 助教：田崎雅義 森 信子

熊本大学医学部保健学科同窓会会則・細則

熊本大学医学部保健学科同窓会会則

第1章 総則

- 第1条 本会は、熊本大学医学部保健学科同窓会（以下「本会」という。）と称する。
- 第2条 本会は、事務局を熊本市九品寺4丁目24番1号熊本大学医学部保健学科に置く。
- 第3条 本会は、会員相互の親睦を図るとともに、母校との連携を保ち、その教育の支援と発展に寄与することを目的とする。
- 第4条 本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行う。
- 一 会員相互の親睦及び研修に必要な事項
 - 二 母校の教育の支援・発展に関する事項
 - 三 その他必要と認められる事項
- 第5条 本会は、必要に応じて各専攻等を単位とする分科会を置くことができる。
- 2 分科会の設置及び運営に関する事項は、理事会の承認を経て各分科会が定める。

第2章 会員

- 第6条 本会の会員は次のとおりとする。
- 一 正会員
 - イ 熊本大学医学部附属看護学校、熊本大学医学部附属助産婦学校、熊本大学医学部附属エックス線技師学校、熊本大学医学部附属診療放射線技師学校、熊本大学医学部附属衛生検査技師学校、熊本大学医学部附属臨床検査技師学校を卒業又は在籍した者
 - ロ 熊本大学医療技術短期大学部を卒業又は在籍した者、熊本大学医療技術短期大学部専攻科助産学特別専攻を修了又は在籍した者、熊本大学教育学部特別教科（看護）教員養成課程を卒業又は在籍した者
 - ハ 熊本大学医学部保健学科（以下「本学科」という）を卒業又は在籍した者並びに在学生
 - 二 熊本大学大学院保健学教育部（以下「大学院」という）を修了又は在籍した者および在学生
 - 二 特別会員
 - イ 本学科教員
 - ロ 本学科及び前項の学校の元教員
 - ハ 前項以外の者で理事会の承認を得た者
- 第7条 会員が死亡または会員たる資格を喪失したときは、退会したものとみなす。
- 第8条 会員が、本会の名誉を傷つけ、または本会の趣旨に反する行為をしたときは、総会において出席会員の4分の3以上の議決により、これを除名することができる。
- 第9条 正会員は、会費（終身）として1万円を本学科入学および大学院入学時に納入するものとする。ただし、退会または除名された会員が既に納入した会費、その他の拠出金は返還しないものとする。

第3章 役員等

- 第10条 本会に次の役員を置く。
- 一 会長 1名
 - 二 副会長 2名
 - 三 理事 12名
（看護6名、衛生3名、放射3名）とする。
 - 四 幹事 7名
 - 五 会計 2名
 - 六 監事 2名
- 第11条 役員は次の職務を行う。
- 一 会長は、本会を代表し、会務を総括する。
 - 二 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときはその職務を代行する。
 - 三 理事は、会員の代表として本会の運営に当たる。
 - 四 幹事は、本会の実務に当たる。
 - 五 会計は、本会の会計事務に当たる。
 - 六 監事は、本会の会計を監査し、総会に報告する。
- 第12条 役員は、次により選出又は委嘱する。
- 一 会長は、総会において正会員の中から選出する。
 - 二 副会長は、会長が正会員の中から推薦し委嘱する。
 - 三 理事は、正会員の中から専攻毎に選出し会長が委嘱する。
 - 四 幹事は、会員の中から会長が委嘱する。
 - 五 会計は、正会員の中から会長が委嘱する。
 - 六 監事は、理事会において正会員の中から推薦し、会長が委嘱する。
- 第13条 役員は、任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。
- 2 補欠による役員は、前任者の残任期間とする。
 - 3 役員は、任期が満了しても後任者が就任するまではその職務を行うものとする。

第4章 名誉会長及び顧問

- 第14条 本会に名誉会長を置き、保健学教育部長を推戴する。
- 第15条 本会に顧問を置くことができる。顧問は、総会の議を経て会長が委嘱する。
- 2 顧問は、重要事項について会長の相談に応ずる。

第5章 会議

- 第16条 総会は、原則として毎年1回開催し、次の事項を審議決定する。
- 一 事業及び決算報告
 - 二 事業計画及び予算
 - 三 会則の制定及び改廃
 - 四 役員を選出
 - 五 顧問の推挙
 - 六 その他の必要と認める事項
- 2 会長は、総会を召集し、理事会の議を経て前項に定める事項を提案する。
- 第17条 会長は必要と認めたとき、臨時総会を開催する

- ことができる。
- 第18条 総会の議長は、出席会員の中から選出する。
- 第19条 総会は、日時、場所、付議すべき事項等を示して召集する。
- 第20条 総会に出席できない会員は、あらかじめ文書をもって意見を表示することができる。
- 第21条 総会の議事は出席会員の過半数で決し、可否同数のときは議長がこれを決する。
- 第22条 総会は、議事録を作成し、これを保存する。
- 第23条 理事会は、会長、副会長、理事及び幹事によって組織する。
- 第24条 理事会は、会長が必要と認めるとき、又は理事の5分の2以上の要求があったときに開催する。
- 第25条 理事会は、会長が召集し、議長は会長がこれにあたる。
- 第26条 理事会の議事は、出席者の過半数で決する。
- 第27条 理事会は必要に応じて委員会を置くことができる。

第6章 会計

- 第28条 本会の経理は、会費及び寄付金、その他の収入を持って充てる。
- 第29条 本会の会計年度は、毎年4月1日から始まり翌年3月31日に終わる。
- 附 則 この会則は、平成16年4月1日から施行する。
- 附 則 この改正は、平成19年4月1日から施行する。
- 附 則 この改正は、平成20年4月1日から施行する。

熊本大学医学部保健学科同窓会会計細則

- 同窓会費は1万円とし、本学科入学および大学院入学時に一括納入することを原則とする。
 - 本学科同窓会費は、同窓会運営費として使用する。運営費以外に使用する場合は、同窓会理事会の承認を必要とする。
 - 旅費に関しては、旅費規程に則って支給する。
 - 金融機関への振込手数料は、会員の負担とする。
 - 金融機関に同窓会の口座を設け、会計が通帳・印鑑を管理する。
 - 同窓会費の徴収は、入学時にを行い、徴収後は速やかに同窓会費支払者名簿を作成する。
 - 会計は、会計年度終了時に速やかに決算報告書を作成し、監査を受ける。
 - 本細則の改正は、同窓会総会で行う。
- 附 則 この細則は、平成16年4月1日から施行する。
- 附 則 この改正は、平成20年4月1日から施行する。
- 附 則 この改正は、平成25年4月1日から施行する。

平成25年度熊本大学医学部保健学科同窓会名簿

- 名誉会長：富口静二（熊本大学大学院保健学教育部長 熊本大学医学部保健学科長）
- 会 長：橋田昌弘（熊本大学医学部附属病院 医療技術部）
- 副 会 長：肥合康弘（熊本大学医学部保健学科）
春田昭一（済生会熊本病院）
- 理 事：
- （看護） 田中シゲ子（旧医療技術短期大学部教員）
本 尚美（熊本大学医学部附属病院 看護部）
田中紀美子（九州看護福祉大学）
小藺真知子（熊本保健科学大学 言語聴覚学専攻）
大澤早苗（熊本保健科学大学）
宮里邦子（熊本保健学科）
- （放射） 荒木不次男（熊本保健学科）
和田博文（済生会熊本病院）
羽手村昌宏（熊本大学病院医療技術部）
- （検査） 増永純夫（熊本中央病院）
前田 浩（熊本市市民病院中央検査部）
中村直子（熊本大学生命資源研究・支援センター）
- 幹 事：
- （看護） 南家貴美代（熊本保健学科）
村上美華（熊本保健学科）
阿部有希乃4年在学生（熊本保健学科看護学専攻）
- （放射） 辻田直子（熊本保健学科）
松本 峻4年在学生（熊本保健学科放射線技術科学専攻）
- （検査） 田崎雅義（熊本保健学科）
高島裕子（元熊本大学医学部附属病院 医療技術部）
- 会 計：松本佳代（熊本保健学科）
吉田佳代（熊本保健学科）
- 監 事：熊谷エツ子（元熊本保健学科教員）
右田香魚子（元熊本大学医学部附属病院 看護部）

編集後記

今年、保健学科同窓会は設立10年を迎えました。そして、今回の同窓会の特別講演には、熊本県内6校の校長を歴任された大畑先生をお招きしました。「医療従事者における挨拶の重要性」と題した講演は、身振り手振りを交えて熊本弁で熱く語られる先生の姿が印象的であり、また日頃から何気なく交わしている「挨拶」のもつ力について、改めて考える機会となりました。

本号に、これまで特別講演にお招きした講師と講演テーマを掲載しています。今後も様々な方面で活躍されている講師をお招きし、話題を提供したいと思います。毎年、総会前に同窓会ホームページで特別講演についてご案内していますので、是非、ご覧になり総会および特別講演会にご参加ください。

最後に、第9号会報の編集にあたり、私ども同窓会役員の依頼を引き受け、寄稿していただきました方々、また同窓会活動に対するご理解と資金面のご支援を頂いた方々へ、心より感謝申し上げます。これからも同窓生の想いが綴られた会報をお届けできるよう、同窓会役員一同、取り組んでいきたいと思っています。どうぞ皆様のご協力をお願いいたします。

保健学科同窓会役員 田崎雅義 辻田直子 南家貴美代



看護職員募集

熊本大学医学部附属病院看護部

熊本大学医学部保健学科同窓生の皆様へ
“私たちと一緒に働きましょう”

私たちの病院は、看護職員一人ひとりが専門職としての能力向上につながるキャリア開発支援と活き活き働き続けられる職場づくりを目指しています。

病院も再開発が進み新しくなりました。学生時代に学んだ熊本大病院で看護をしてみませんか。
詳細はホームページをご覧ください。

